

令和3年度 大学院医学研究科 基礎臨床共通講義Ⅱ—医科学研究特論—（日程表）

| No. | 開講期間                                       | タイトル                                   | 担当教員   | 専門分野          | 講義内容   |
|-----|--|--|--------|---------------|--|
| 1   | R3.04.05(月) 17:30 ~<br>R3.04.06(火) 17:30 ~ | 春季研究報告会（基礎棟3階会議室）                      |        |               | 研究課題、背景、目的、方法、結果、学位論文完成までの予定を含めた学位論文進捗状況の報告<br>(2022年9月及び2023年3月修了予定者)   |
| 2   | R3.05.20(木) 10時 ~ R3.05.27(木) 10時          | 疾病予防の概念と生活習慣病の疫学                       | 吉田 正雄  | 社会医療情報学       | わが国で実施されている疫学研究を実例に、疾病予防の概念と生活習慣病の発症リスクについて解説する。   |
| 3   | R3.05.28(金) 10時 ~ R3.06.04(金) 10時          | 死因究明と皮膚症状について                          | 山田 真嗣  | 法科学           | 死因究明のスタートは外表検案に始まり、ご遺体と対面したときのファーストインプレッションは思わぬヒントを与えてくれる。本講座では、皮膚症状に着目した死因究明の試みを紹介する。   |
| 4   | R3.06.03(木) 10時 ~ R3.06.10(木) 10時          | 神経筋電気診断とは？<br>：末梢神経伝導検査(NCS)を中心に       | 大石 知瑞子 | 神経内科学         | 神経筋電気診断、とくに神経伝導検査(NCS:nerve conduction study)の解釈について、基礎から解説する。   |
| 5   | R3.06.08(火) 10時 ~ R3.06.15(火) 10時          | 肺高血圧症の診断と治療の最新情報                       | 菊池 華子  | 循環器内科学        | 難治性疾患といわれる肺高血圧症だが、近年は治療の進歩により、特に日本での治療成績はめまぐるしく改善してきている。肺高血圧症の診断と治療の最新情報を紹介する。   |
| 6   | R3.06.11(金) 10時 ~ R3.06.18(金) 10時          | マイクロバイオーム研究：<br>微生物と宿主の相互関係            | 三好 潤   | 消化器内科学        | 微生物叢研究手法の進歩および腸管微生物叢と宿主の相互関係に関する知見を解説する。   |
| 7   | R3.06.18(金) 10時 ~ R3.06.25(金) 10時          | 脊髄再生医療とリハビリテーション                       | 田代 祥一  | リハビリテーション医学   | 脊髄損傷の再生医療とリハビリテーションの役割について概説する。  |
| 8   | R3.06.24(木) 10時 ~ R3.07.01(木) 10時          | がん治療の新たな柱となるか？<br>～ウイルス療法の現状と展望        | 田口 慧   | 泌尿器科学         | がん治療用ウイルスを用いたウイルス療法の現況について概説する。  |
| 9   | R3.06.29(火) 10時 ~ R3.07.06(火) 10時          | 最新の創傷治療                                | 大浦 紀彦  | 形成外科学         | 基礎研究の進歩と創傷治療機器・薬剤の発展によって、創傷治療法はここ20年で大きな変化を遂げた。この講義では、最新の創傷治療の概念と実際の治療法について概説する。   |
| 10  | R3.07.13(火) 10時 ~ R3.07.20(火) 10時          | 運動機能再建に向けた新たな神経リハビリテーション               | 中島 剛   | 統合生理学         | 脊髄障害後、脳から脊髄への運動経路の再構築は、運動機能回復の重要な神経基盤となる。今回は、ヒト脊髄内に代替神経システムを新たに構築する神経リハビリテーション法について、健康者研究や脊髄障害患者を対象にした臨床研究などの成果から解説する。   |
| 11  | R3.07.27(火) 10時 ~ R3.08.03(火) 10時          | 間質性肺炎に対する抗線維化薬 最近の知見                   | 本多 紘二郎 | 呼吸器内科学        | 特発性肺線維症に対してのみ適応のあった抗線維化薬が、「進行性線維化を伴う間質性肺炎疾患」(PF-ILD)という疾患概念のもと適応が広がってきた。薬の副作用や効果も含めて解説する。  |
| 12  | R3.08.05(木) 10時 ~ R3.08.12(木) 10時          | 脳梗塞治療の進歩と今後の展望                         | 海野 佳子  | 脳卒中医学         | 最近数年の「脳梗塞治療におけるパラダイムシフト」と、2019年12月に施行の「脳卒中・循環器病対策基本法」について概説する。   |
| 13  | R3.09.03(金) 10時 ~ R3.09.10(金) 10時          | 婦人科がんサバイバーのヘルスケア                       | 西ヶ谷 順子 | 産科婦人科学        | 婦人科がん治療中・治療後の患者さんのヘルスケアについて、現状や問題点、治療等について講義します。   |
| 14  | R3.09.17(金) 10時 ~ R3.09.24(金) 10時          | ファージ療法の課題と展望                           | 花輪 智子  | 感染症・熱帯病学      | 多剤耐性菌感染症に対する新たな治療法として欧米でも臨床試験が開始されているファージ療法の現状を紹介する。   |
| 15  | R3.09.28(火) 10時 ~ R3.10.05(火) 10時          | 希少がんの臨床研究<br>—知見の確立の実践—                | 森井 健司  | 整形外科          | 希少疾患の知見の確立は困難である。本講義では代表的な希少がんである肉腫の臨床研究の実践を概説する。  |
| 16  | R3.10.15(金) 10時 ~ R3.10.22(金) 10時          | 外科医におけるGeneral skillとは                 | 小島 洋平  | 消化器・一般外科学     | 外科医のGeneral skillは普遍的なのか？手術手技の多様性に伴う変化について解説する。  |
| 17  | R3.10.18(月) 17:30 ~<br>R3.10.19(火) 17:30 ~ | 秋季研究報告会（基礎棟3階会議室）                      |        |               | 研究課題、背景、目的、方法、結果、学位論文完成までの予定を含めた学位論文進捗状況の報告<br>(2023年3月及び2023年9月修了予定者)   |
| 18  | R3.10.26(火) 10時 ~ R3.11.02(火) 10時          | 血管生物学研究の最前線                            | 末弘 淳一  | 分子細胞薬理学       | 血管内皮細胞での遺伝子発現解析や薬物スクリーニングを中心に、血管生物学分野の最新の知見を紹介する。  |
| 19  | R3.11.09(火) 10時 ~ R3.11.16(火) 10時          | 抗がん剤の薬理学                               | 宮 敏路   | 呼吸器・甲状腺外科学    | 抗がん剤の薬物動態学について概説し、分子標的薬剤、免疫チェックポイント阻害剤など、近年のがん薬物療法の進歩について解説します。  |
| 20  | R3.11.16(火) 10時 ~ R3.11.23(火) 10時          | 症例からはじまる高齢者摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎のメカニズム解明と産学連携まで | 海老原 孝枝 | 加齢医学          | 1症例からはじまった、誤嚥性肺炎メカニズム解明および予防戦略確立に至った経緯を紐解き、基礎研究に基づいたトランスレーショナルリサーチを講義する。   |
| 21  | R3.12.02(木) 10時 ~ R3.12.09(木) 10時          | 血管新生に関わるタンパク機能の解析                      | 福原 大介  | 小児科学          | 近年、様々なゲノム情報が明らかになり、それらゲノムの規定するタンパク機能を解明することは重要なテーマである。そこで、血管新生におけるタンパク機能解析を例に、種々の実験モデルを用いた基礎研究を紹介する。   |
| 22  | R3.12.10(金) 10時 ~ R3.12.17(金) 10時          | 多様なマクロファージ<br>～全身ではたらくユーティリティープレイヤー～   | 川上 貴久  | 腎臓・リウマチ膠原病内科学 | マクロファージをただの炎症を起こす細胞だと思いませんか？抗炎症作用、修復促進、血管新生、発生時の組織構築、抗原提示など多くのはたらきがあります。それらを俯瞰してみましょう。   |
| 23  | R3.12.14(火) 10時 ~ R3.12.21(火) 10時          | 新しい固定法の献体を用いた音声基礎実験と臨床への応用             | 宮本 真   | 耳鼻咽喉科学        | 音声実験は古くから行われている実験であるが、新しい固定法の献体を用いて音声の基礎実験を行い、どのように臨床へ応用するかを報告する。  |
| 24  | R3.12.16(木) 10時 ~ R3.12.23(木) 10時          | 医療介入の価値を科学する                           | 山田 昌和  | 眼科学           | 医療介入の評価は伝統的に医師側の視点で行われてきたが、近年は患者側の視点(QOLや嗜好など)や社会的視点(費用対効果や医療資源消費など)による評価も盛んになってきた。ここでは医療介入の価値の科学的評価の試みについて概説する。   |
| 25  | R4.01.07(金) 10時 ~ R4.01.14(金) 10時          | 低コストで行う二重盲検試験                          | 櫻井 準   | 精神神経科学        | 実際に行った統合失調症対象の臨床試験を紹介しながら、二重盲検試験を低コストで行う方法について解説する。  |
| 26  | R4.01.18(火) 10時 ~ R4.01.25(火) 10時          | メタボリックシンドロームと遺伝素因                      | 山本 隆史  | 代謝生化学         | メタボリックシンドローム発症における遺伝因子の寄与やその遺伝的動物モデルから見出された遺伝子について紹介する。  |
| 27  | R4.01.21(金) 10時 ~ R4.01.28(金) 10時          | 神経疾患における眼球運動計測                         | 寺田 さとみ | 病態生理学         | 眼球運動を制御するメカニズムについて概説し、神経疾患の病態生理を眼球運動計測から解明する試みについて紹介する。  |
| 28  | R4.02.03(木) 10時 ~ R4.02.10(木) 10時          | 脳神経外科疾患の遺伝子解析研究                        | 中富 浩文  | 脳神経外科学        | 脳外科手術が治療のために必須な脳血管疾患や難治性てんかんでは、手術の際に病変摘出のために取り出された組織(血管組織や脳組織)が得られます。採血で採取される血液と合わせて解析することで、病態発症に重要な体細胞変異somatic mutationを解析できます。こうした疾患の感受性遺伝子、修飾遺伝子を明らかにして病態を解明することが当研究室のゴールです。ゲノム情報を還元し、個々の疾患・症例に応じたプリジジョンメディシンを構築していくことが究極のビジョンであります。 |
| 29  | R4.02.15(火) 10時 ~ R4.02.22(火) 10時          | 糖尿病骨代謝異常の基盤病態の解明                       | 高橋 和人  | 糖尿病・内分泌・代謝内科学 | 糖尿病骨代謝異常に関し、当教室においてこれまで解明できた基盤病態を報告する。   |
| 30  | R4.02.22(火) 18時 ~<br>(ZOOMを用いた講義。当日配信のみ)   | ショウジョウバエ中枢神経損傷時のグリア応答とその分子基盤           | 加藤 健太郎 | ゲノム・遺伝学       | 神経損傷時のグリア細胞の応答とその分子基盤について、ショウジョウバエを用いた研究を紹介する。併せてモデル生物としてのショウジョウバエについても解説する。   |
| 31  | R4.03.01(火) 10時 ~ R4.03.08(火) 10時          | Sustainableな研究を目指して<br>—臨床から基礎、そして臨床へ— | 中澤 春政  | 麻酔科学          | 臨床のなかで生まれた疑問を基礎研究で実証し、そして臨床に還元していく方法について、私がこれまで行なってきた研究を例に挙げてお話させていただきます。  |

【公開論文発表会】

- 公開論文発表会・日程等は、医学研究科HPにより逐次公表します。参加1回で共通講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。但し、2コマを限度とします。
- 出席確認として、公開論文発表会「参加者名簿」に記載が必要です（記載が無い場合、受講したと認めません）。

【特別講義（特別講演会）及び、イブニングセミナー】

- 日程は、医学研究科HPにより逐次公表します。参加1回で共通講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。
- 出席確認として、特別講義（特別講演会）「参加者名簿」に記載が必要です（記載が無い場合、受講したと認めません）。